

# 日本の環境問題を考える

環境問題を追求してゆけば、必ず人間活動、ひいては、社会のあり方の問題に突き当たります。  
持続的な社会の構築に向けて環境問題を一緒に考えてみましょう。



・講師：<sup>せと</sup>瀬戸 <sup>まさゆき</sup>昌之さん

【東京農工大学名誉教授・日本環境学会会長  
立川市羽衣町在住】

## ○第1回：『足もとと宇宙から地球を考えよう』

◇期日：平成30年10月13日（土） 14：00～16：00

- ・地球の姿、生物と人の歴史について思いをはせてみましょう…
- ・「人は社会や自然環境とどのように関わっているのか」を一緒に考えてみましょう…

## ○第2回：『持続的で公正な社会に何が必要か —農山村こそ環境の主角—』

◇期日：平成30年12月15日（土） 14：00～16：00

- ・みんなが共有できる社会や自然環境は「持続的で公正」な環境です。
- ・これを支えているのが「農林業」。しかしながら日本の農山村は消滅に向かっています。農山村や都市の何が問題かを一緒に考えてみましょう…

- ・[会場]：高松学習館・第1教室
- ・[申込]：高松学習館（042-527-0014）まで [9月11日（火）～]
- ・[定員]：30人（申込順） ・[保育]：あり（事前申込み・1才～学齢前）
- ・[受講料]：無料



たちかわ市民交流大学・市民推進委員会 主催

[きらきら☆カード対象講座]

## 【講師の紹介】

### ○ 瀬戸 昌之さん

- ・現在：東京農工大学名誉教授・日本環境学会会長・立川市羽衣町在住
- ・著書：
  - ・持続社会への環境論（有斐閣）2009年
  - ・環境微生物学入門—人間を支えるミクロの生物—（朝倉書店）2006年
  - ・持続可能で豊かな社会を展望する（秋山財団ブックレット）2006年
  - ・環境学講義 環境対策の光と影（岩波書店）2002年
  - ・生態系 人間存在を支える生物システム（有斐閣）1992年など
- ・身近な研究テーマ：  
「多摩川の汚濁と流域の重金属分布」など



### 【会場へのご案内】

- (1) JR 立川駅北口より徒歩 15分
  - (2) 多摩都市モノレール立川北駅より  
徒歩 15分
- \*受講者専用の駐車場はありません。